

令和5年3月17日

関係各位

一般財団法人新潟県バスケットボール協会
会長 栗山 敏昭

県協会主催事業のマスク着用について

日頃より一般財団法人新潟県バスケットボール協会(以下、当協会)の事業にご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。

当協会より、3月17日以降の事業における入場者のマスク着用について、以下の通りお知らせいたします。

この度、政府は3月13日からのマスク着用について「個人の判断に委ねることを基本とする」ことを決定しております。

一方で、事業者の対応については「感染対策上又は事業上の理由等により、利用者又は従業員にマスクの着用を求めることは許容される」とされております。

(参考:[2023年2月10日付マスク着用の考え方の見直し等について](#))

JBAバスケットボール事業・活動実施ガイドライン第6版(令和5年3月13日版)では今後の感染対策として下記のように示されています。

(ア) マスクの適宜着用やソーシャル・ディスタンス確保の徹底、基本的な衛生エチケットを遵守する。

(イ) 手指消毒液など、試合や練習では広く使用ができるように準備し、頻繁に手洗いを実施する。

(ウ) 審判はホイッスルカバーの着用は個人判断とし、レフェリーマスクは原則着用する。

これらを受けまして当協会では、当面の間、観客席で大声を出す場合は、マスク着用を「**お願いする**」こととさせていただきます。様々なところで入場時の検温の廃止や声出し応援の規制緩和など観戦ルールの見直しが行われる中で、感染対策について不安に思われる方も少なからずいらっしゃる事が推察されます。当協会の事業を観戦して下さるすべての皆様に安心していただけるよう、会場内でのマスクの着用にご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

また、会場の入場制限に関しては、5月8日以降に当協会より公表させていただきます。

より多くの皆様に県内のバスケットボールの熱い戦いを会場でお楽しみいただけるよう努めてまいりますので、皆様のご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

※高体連・中体連主催大会でのマスク着用については主催者の発表する情報をご覧ください。

※審判に関しては、ホイッスルカバーの着用は各自で判断、レフェリーマスクに関しては原則着用をお願い致します。